

技術士第二次試験 - 機械部門の受験対策講座

(産業・化学機械と安全部門 企画)

開催日 2016年4月4日(月) 18.30~20.00
会場 キャンパス・イノベーションセンター東京2階 多目的室1
〒108-0023 東京都港区芝浦3-3-6
<http://www.cictokyo.jp/access.html> JR田町駅徒歩1分

趣旨 当部門は機械学会の中でも、とりわけ横断的色彩が濃い部門である。対象は、建設機械、農業機械、食品(加工)機械など、多くの産業機械関連分野、そして、化学装置、化学プラント等、化学品製造に関わる化学機械関連分野である。当部門はこの特長を生かし、多種多様な関連産業に共通する課題を見だし、情報の共有化、情報の発信をしていくことを使命と考えている。その一つとして「安全」を取り上げている。

また、関連する機械が多種多様であることから、社会で実務経験を有する技術者も多彩であることを示している。今日のように複雑化した機械技術においては、各技術者が専門とする技術のみでは解決できない場合も多々あると考える。複数の技術の融合により、より高度な技術に発展していく可能性がある。そのためには、情報収集と懇談の場を提供する必要があると考えて、本企画を計画した。今後も定期的開催していく予定である。

講演要旨 平成28年度の技術士第二次試験は、大幅な試験制度の改正がなされた平成25年度から4回目となる。主な変更は、「必須科目の五肢択一式の問題」、「選択科目の筆記試験で新設の「課題解決能力」を問う問題」、「口頭試験の試問内容」であり、受験申込書の業務経歴の書き方についても従来の内容から変更があった。平成25年度から27年度までの試験内容を踏まえて、これらを重点的に解説する。更に、平成27年度からは、必須科目に合格していないと選択科目が採点されなくなるため、必須科目の対策を十分に行なう必要がある。本講座は平成28年度に機械部門を受験しようと考えている方にとって参考となる受験対策を目的とした講座である。過去にも同じ講座をこの時期に実施しているが、受験願書の提出が4月となっているためである。このセミナーでは、技術士試験の目的、改正された試験項目とその内容、筆記試験の解答の書き方の基本などを説明する。また、講師が今まで長年実施してきた受験指導を通して、今後の受験者がどのような勉強をしていけば合格できるのかを説明する。加えて受験申込み願書の書き方のポイントを説明する。また、受験者が過去問題を書く練習をするために、答案用紙の内容についても説明する。参考として、過去の本講座を受験して合格された方が多数います。

講師 大原 良友 技術士(機械部門, 総合技術監理部門)
千代田化工建設(株) 機械設計ユニット シニアコンサルタント

定員 30名

参加費 正員:1000円 会員外:2000円 学生員:無料 一般学生:500円
(当日会場にて申し受けます)

申込方法 E-mailに「第38回トワイライトセミナー申込み」と題記し、(1)氏名、(2)会員資格、(3)勤務先・所属部課名・役職名、(4)連絡先(郵便番号・住所・電話番号・FAX・E-mailアドレス)を明記の上、sakurai@jsme.or.jpまでお申し込み下さい。

問合せ先 〒160-0016 東京都新宿区信濃町35 信濃町煉瓦館5階 日本機械学会産業・化学機械と安全部門(担当職員 櫻井) / 電話:03-5360-3505 E-mail:sakurai@jsme.or.jp